新潟県合同輸血療法委員会 HP 使用状況調査新システム入力方法

① ホームページのトップページ「使用状況入力フォーム」をクリック



② 新システムにログイン



③ ログインした最初の画面 「入力画面」をクリックして入力フォームへ



④ 入力対象月を選択⇒データ入力

入力画面 FormA	新潟赤十字病院入力フォーム									
CSVダウンロード analyze	HOME 入力画面 新潟赤十字病院入力フォーム									
基本情報	入力対象データ 2015年1月									
prefs										
ログアウト logout	<u><2014</u> ± <u>1</u> <u>1</u> <u>7</u> <u>2</u> <u>1</u> <u>3</u> <u>1</u> <u>4</u> <u>7</u> <u>5</u> <u>1</u>									
	データ入力したい月をクリック 🔤 入力済みの月は黒丸表示									
	輪血実施患者について(延べ人数)									
	*:延べ人数:午前0時からの24時間以内に行われた一連の輸血を「1」と数えてください									
	(例:3日連続輸血⇒延べ人数3) (例:結果的に日をまたいだ手術で、輸血を手術開始日の22時および日付が変わった翌日2時に行った場合⇒延べ人数 2)									
	□ 血液製剤の使用がない									
	同種血 - 名 自己血 - 名 アルブミン - 名									

⑤ データ入力方法

入力するデータはこれまでと変更ありません。新システムでは合計を自動集計できるようになりました。緑色の欄が自動集計枠なので入力の必要はありません。データを入力すると欄がピンク色に変わります。データ入力時は必ずエンターキーを押してください(Tab キーでも可)。エンターキーを押さないと自動集計に反映されません。



「血液製剤及び自己血の使用について」緑欄以外にデータ入力

血液製剤及び自己血の使用について

アルブミン、自己血は必要に応じて小数点入力してください *赤血球製剤には全血製剤も含みます

* 科別分類が無理な施設は「その他」に使用量を入力してください

		体田田				科別使用量						
	议刑里				内科	外科	小児科	産婦人科	その他			
(1)赤血球製剤(単位)		-			-	-	-	-	-			
(2)血小板製剤(単位)		-			-	-	-	-	-			
(3)血漿製剤(バック数)				↓血漿交換を行っ	ック数)を入力し	てください						
FFP-LR-120	-	0	L	血漿交換分 -	-	-	-	-	-			
FFP-LR-240	-	0	L	血漿交換分 -	-	-	-	-	-			
FFP-LR-480	-	0	L	血漿交換分 -	-	-	-	-	-			
(4) アルブミン (グラム数)		-			-	-	-	-	-			
(5)自己血(リットル)	貯血 -	回収 -		希釈 -	-	-	-	-	-			
	fi合血5自	-		自己血科別計	-							

*細分類可能な施設

	血液内科	消化器内科	循環器内科	消化器外科	胸部外科	整形外科	脳神経外科	泌尿器科	その他			
(1)赤血球製剤(単位)	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
(2)血小板製剤(単位)	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
(3) 血漿製剤 (パック数)												
FFP-LR-120	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
FFP-LR-240	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
FFP-LR-480	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
(4)アルブミン(グラム数)	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
(5)自己血(リットル)	-	-	-	-	-	-	-	-	-			

「血液製剤及び自己血の廃棄について」

緑欄以外にデータ入力後「保存する」ボタンをクリック



⑥ 入力済みデータのダウンロード

{CSV ファイル} の場合

ダウンロードしたい月を選択⇒「入力フォーマット」を選択し「CSV ダウンロード」ボタンをクリ ック

BUCS Blood product usage coollection system	■ログインユーザ:新潟赤十字病院										
入力画面 FormA	CSVダウンロード										
CSVダウンロード analyze	HOME CSVダウンロード										
基本情報 prefs	< <u>2014年</u> <u>2016年 ></u> ② 2015年										
ログアウト logout	1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月										
	○ 横-列 (0 入力フォーマット) CSVダウンロード クリック										

例)ダウンロードした CSV ファイル

2014年12月 2. 輪面実施患者について(延く数) *: 延く数: 午前の時からの24時間以内に行われた一速の輸血を「1」と数えてください (例: 話車跳輪面の送く数) (例: 結果的に日をまたいだ手術で、輪面を手術開始日の22時おじけけが変わった翌日2時に行った場合→延く人数 2) 血液製剤の使用がない場合は4にお進みください 同種血 0 名 自己血 0 名 月 0 0 名 自己 0 名 アルブミン 0 名												
2. 輸血実施患者(こつ)て(延べ人数) *: 延べ人数:午前の時→5024時間以内に行われた一連の輸血を「1」と数えてください (例: 結果的口)回をたいだ手術で、輸血を手術開始日の22時は、び日付が変わった翌日2時に行った場合⇒延べ人数 2) 血液製剤の使用がない場合はは、お進みください 同種血 0 名 自己血 0 名 アルブシ 0 名 * 分類可能な施設は入してください 男女 0 0 0 0 1 2 2 3 60~69歳 70歳以上 6 計 90 0 0 0 1 2 3 4 5 6 21 第 0 0 0 0 1 2 3 4 5 6 21 9 0 0 0 0 1 2 3 4 5 6 21 9 0 0 0 0 1 3 5 7 9 11 21 3. 血液製剤及び自己 一の使用について アルブシ、自己血は必要に応じて小数点入力してください *赤血球製剤には全血製剤を含みます * 科別分類が無理な施設は【その他」に使用量を入力してください *赤血球製剤には全血製剤を含みます * 科別分類が無理な施設は【その他」に使用量を入力してください * 本類分類が無理な施設は【その他」に使用量を入力してください * 本類分類が無理な施設は【その他」に使用量を入力してください * 本類分類が無理な施設は【その他」に使用量を入力してください * 本類分類が無理な施設は【その他」に使用量を入力してください * 本面球製剤(い?) 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	2014年12月											
* : 延べ人数 : 午前の時からの24時間以内に行われた 一連の輸血を「1」と数えてください (例: 3日連続輸血→延べ人数 3) (例: 結果的に日をまたいだ手術で、輸血を手術開始日の22時よび日付が変わった翌日2時にでった場合→延べ人数 2) 血液製剤の使用がない場合は4にお進みください 同種血 0 名 自己血 0 名 アルブミン 0 名 「「」」 男女別可能な施設は入力してください 男女別年代別(同種四のみ) の 0 0 1 2 3 4 60~69歳 70歳以上 合計 50~59歳 60~69歳 70歳以上 合計 50~59歳 60~69歳 70歳以上 合計 50~59歳 60~69歳 70歳以上 合計 50~59歳 50~59歳 60~69歳 70歳以上 合計 50~59歳 50~59歳 60~69歳 70歳以上 合計 50~59歳 60~69歳 70歳以上 合計 50~59歳 60~69歳 70歳以上 合計 50~59歳 7 9 11 21 50~59歳 60~69歳 70歳以上 合計 50~59歳 60~69歳 70歳以上 合計 50~59歳 60~69歳 70歳以上 61 50~59歳 7 9 11 21 50~59歳 60~69歳 70歳以上 61 50~59歳 60~69歳 70歳以上 70 50~59歳 60~69歳 70歳以上 70 50~59歳 60~69歳 70歳以上 70 50~59歳 7 9 11 21 50~59 50~59歳 60~69歳 70歳以上 70 50~59 50~59歳 60~69歳 70歳以上 70 50~59 50~59歳 7 9 11 21 50~59 50~59 50~59歳 7 9 11 21 50~59 50~50~50 50~50~50~50~50~50~50~50~50~50~50~50~50~5	2. 輸血実施	患者につい	て(延べ人	数)								
*: 延べ人数: 午前0時からの24時間以内に行われた一連の輸血を「1」と数えてください (例: 3日連続輸血 => 延べ人数 3) (例: 結果的に日をまたいだ手術で、輸血を手術開始日の22時および日付が変わった翌日2時に行った場合 >= 延べ人数 2) 血液製剤の使用がない場合は4、お進みください 同種血 0 名 自己血 0 名 アルブミン 0 名												
(例:3日連続輪血→延べ人数 3) (例:結果的に日をまたいだ手術で、輸血を手術開始日 ひ22時おとび日付が変わった翌日2時に行った場合→延べ人数 2) 血液製剤の使用がない場合は4にお進みください 「白己血」0<名	*:延べ人数	:午前0時;	からの24時	時間以内に	行われた-	-連の輸血	を「1」と数え	えてください	`			
(例:結果的に日をまたいだ手術で、輸血を手術開始日の22時および日付が変わった翌日2時に行った場合⇒延べ人数 2)血液製剤の使用がない場合は4」にお進みくださいの名アルブミン0名同種血0名自己血0名アルブミン0名* 分類可能な施設は入力してください少少29歳30~39歳40~49歳70歳以上661661男00123456男001234566方001234566方001234566方001357911213. 血液製剤及び自己 *赤血球製剤には全血製剤も含みます </td <td>(例:3日連続</td> <td>輸血⇒延</td> <td>ベ人数 3)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>	(例:3日連続	輸血⇒延	ベ人数 3)									
血液製剤 (中かく) 場合は、お進みくだい (中かく) 場合は、お進みくだい (中かく) 場合は、お進みくだい (中かく) 場合は、お進みくだい (中かく) 場合は、お進みくだい (中かく) 場合は、お進みくだい (中かく) 名 (中かく) A (中かく)	(例:結果的)	こ日をまたし	ハだ手術で	、輸血を手	術開始日の	の22時およ	いけけが	変わった翌	日2時に行	iった場合=	→延べ人数	2)
血液製剤の使用がない場合は41< ・ ・ 「種血0名10 </td <td></td>												
同種血名自己血0名 $\pi \mu J \approx \lambda$ $\mu J \propto \lambda$	血液製剤の	使用がない	ハ場合は41	こお進みく	ださい							
同種血0A自己血0A $7 \mu J = 2$ 0A() <t< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></t<>												
・分類可能<応認し、 男女別年代別(同種血のみ) 0~9歳10~19歳 020~29歳 030~39歳 040~49歳 40~49歳 050~59歳 50~59歳 060~69歳 60~69歳 770歳以上 70歳以上 70歳以上 0合計 合計 70歳以上 0合計 70歳以上 70歳以上 0合計 70歳以上 70歳以上 0合計 70歳以上 70歳以上 0合計 70歳以上 70歳以上 0合計 70歳以上 70歳以上 0合計 70歳以上 70歳以上 0合計 70歳以上 70歳以上 0合計 70歳以上 70歳以上 0合計 70歳以上 70歳以上 0合用 70歳以上 70歳以上 0合用 70歳以上 70歳以上 0合用 70歳以上 70歳以上 0合用 70歳以上 70歳以上 0合用 70歳以上 70歳以上 0合用 70歳以上 70歳以上 0合用 70歳以上 70歳以上 0合用 70歳以上 70歳以上 0合用 70歳以上 70歳以上 0合用 70歳以上 70歳以上 0合用 70歳以上 70歳以上 0合用 70歳以上 70歳以上 0合用 70歳以上 70歳以上 0合用 70歳以上 70歳以上 0合用 70歳以上 70歳以上 0合用 70歳以上 70歳以上 0合用 70歳以上 70歳以上 0合用 70歳以上 70歳以日 0合用 70歳以日 70歳以日 0合用 70歳以日 70歳以日 0合用 70歳以日 70歳以日 0合用 70歳以日 70歳以日 0合用 70歳以日 70歳以日 0合用 70歳以日 70歳以日 0合用 70歳以日 70歳以日 70歳以日 70歳以日 70歳し日 70歳し日 <td>同種血</td> <td>0</td> <td>名</td> <td>自己血</td> <td>0</td> <td>名</td> <td>アルブミン</td> <td>0</td> <td>名</td> <td></td> <td></td> <td></td>	同種血	0	名	自己血	0	名	アルブミン	0	名			
* 分類可能では、していたいでは、しいいは、していたいでは、していたいでは、しいいは、しいいは、しいいいは、しいいは、しいいは、しいいは、しいいは、												
* 分類可能 > 施設 () () () () () () () () () () () () ()												
男女別年代別(同種血)→) 0~9歳10~19歳 10~19歳20~29歳 030~39歳 40~49歳40~49歳 50~59Å50~59Å 50~69Å60~69Å 70歳以占70歳以ら 6計6計7061男 分0001234515合計0001234515合計0001357911213. 血液製剤表び自己 アルブミン、自己血は必要に応じてい数点入プレてください*赤血球製剤には全血製剤も含みます<	* 分類可能な	⊧施設は入	カしてくだる	さい								
0~9歳 月10~19歳 020~29歳 030~39歳 040~49歳 250~59歳 060~69歳 770歳以上 7合計月0012345621合計001234515合計001234515合計00135791121合計001357911213. 血液製剤次目さいの使用に、数 水方レンド1111111アルブミン、自己血は必要に応じて、数 水赤血球製剤レビドレビド11111111*赤血球製剤111<	男女別年代別	1(同種血の	つみ)									
男00012345621女0001234515合計001357911213. 血液製剤及び自己 アルブミン、自己 *赤血球製剤には全血製剤も含みます		0~9歳	10~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上		合計	
女00001234515合計001357911213. 血液製剤及び自己血の使用について	男	0	0	0	1	2	3	4	5	6	21	
合計0001357911213. 血液製剤 アルブミン、目さ血は必要に応じて小数点入してください <td>女</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>15</td> <td></td>	女	0	0	0	0	1	2	3	4	5	15	
3. 血液製剤及び自己mの使用について Image: Content of the sector of	合計	0	0	0	1	3	5	7	9	11	21	
3. 血液製剤及び自己血の使用について アルブミン、自己血は必要に応じて小数点入力してください 「」」」」」」 「」」」」」」 「」」」」」 「」」」」」 「」」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 <td></td>												
アルブミン、自己血は必要に応じて小数点入力してください 「 <t< td=""><td>3. 血液製剤</td><td>及び自己血</td><td>□の使用に</td><td>ついて</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></t<>	3. 血液製剤	及び自己血	□の使用に	ついて								
アルブミン、自己血は必要に応じて小数点入力してください <												
*赤血球製剤には全血製剤も含みます * 科別分類が無理な施設は「その他」に使用量を入力してください 使用量 (使用量 (使用量 (売血球製剤)(単位) (①赤血球製剤(単位) (①赤血球製剤(単位) (①赤血球製剤(小ック数) FFP-LR-120 (① 0 (① 0 (□ 0 (アルブミン、目	自己血は必	要に応じて	小数点入	カしてくださ	きしい						
* 科別分類 が無理な施設は「その 他」に使用 量を入力してください APP (100 (100 (100 (100 (100 (100 (100 (1	*赤血球製剤	には全血	製剤も含み	ます								
* 科別分類が無理な施設は「その他」に使用量を入力してください 使用量 使用量 作用量 * 科別使用量 ~ 6 6 6 6 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7												
使用量 使用量 科別使用量 内科 小児科 産婦人科 その他 (1) 「赤血球製剤(単位) 0 <td< td=""><td>*科別分類な</td><td>が無理な施</td><td>設は「その</td><td>他」に使用</td><td>量を入力し</td><td>、てください</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></td<>	*科別分類な	が無理な施	設は「その	他」に使用	量を入力し	、てください						
内科 外科 小児科 産婦人科 その他 ⑦赤血球製剤(単位) 0			使用量			科別使用:	量					
①赤血球製剤(単位) 0 0 0 0 0 0 ②血漿製剤(バy)数) 0 0 0 0 0 0 ③血漿契剤(n'y)数) 0 0 0 0 0 0 FFP-LR-120 0 0 0 0 0 0 FFP-LR-240 0 0 0 0 0 0 FFP-LR-480 0 0 0 0 0 0 ④アルブミン(ゲラム数) 0 0 0 0 0 0 ⑤自己血(リットル) 0 0 0 0 0 0						内科	外科	小児科	産婦人科	その他		
②血小板製剤(単位) 0 <t< td=""><td>①赤血球製剤</td><td>1(単位)</td><td>0</td><td></td><td></td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td></td><td></td></t<>	①赤血球製剤	1(単位)	0			0	0	0	0	0		
③血漿製剤(バック数) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	②血小板製剤	1(単位)	0			0	0	0	0	0		
FFP-LR-120 0 <t< td=""><td>③血漿製剤(</td><td>バック数)</td><td></td><td></td><td></td><td>血漿交換</td><td>を行った場</td><td>合は使用量</td><td>』(バッグ数)</td><td>を入力して</td><td>ください</td><td></td></t<>	③血漿製剤(バック数)				血漿交換	を行った場	合は使用量	』(バッグ数)	を入力して	ください	
FFP-LR-240 0 0 0 0 0 0 0 0 FFP-LR-480 0 0 0 0 0 0 0 0 0 ④アルブミン(グラム数) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 ⑤自己血(リットル) 0 0 0 0 0 0 0 0 0	FFP-LR-1	20	0	0	0	0	0	0	0	0		
FFP-LR-480 0 <t< td=""><td>FFP-LR-2</td><td>240</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td></td><td></td></t<>	FFP-LR-2	240	0	0	0	0	0	0	0	0		
④アルブミン(グラム数) 0 0 0 0 0 ⑤自己血(リットル) 0 0 0 0 0 0 自己血合() 0 0 0 0 0 0	FFP-LR-4	180	0	0	0	0	0	0	0	0		
⑤自己血(リットル) 0 0 0 0 0 0 自己血合 0 0 0 0 0 0	④アルブミン	(グラム数)	0			0	0	0	0	0		
自己而合 0 自己而科 0	⑤自己血(リッ	ルル)	0	0	0	0	0	0	0	0		
			自己血合	0	自己血科	0						

各医療機関のグラフ化データのダウンロードはこれまで通り トップページ「血液製剤使用状況閲覧」から入り ID・パスワードを入力



例)各医療機関のグラフ化データー部



これまでのシステムとの違い

・データ入力後、メールは届きません

・「保存する」ボタンを使用することによって、入力途中のデータを保存できます

・データ入力後(保存ボタンを押した後)にデータを呼び出して修正し「保存する」ボタンを押 すと上書き保存されます

・「保存する」ボタンを押すことによって、入力したデータは事務局で使用する集計ソフトに反映 されます。データの修正は自施設でできますが、20日過ぎに修正した場合は事務局に連絡してく ださい。

・自動集計される緑の欄には入力できません。データ入力後エンターキーまたは tab キーで確定 させないと、自動集計に反映されませんので注意してください。

・輸血実施延べ人数の年代別欄の合計が重なる部分と、血漿製剤廃棄の合計欄は再度エンターキ 一が必要になります。

・「ゼロ」入力は不要です。データを入力しない欄は必然的に「ゼロ」で集計されます。入力忘れ や入力ミスにご注意ください。

・輸血患者の年代別分類を「70歳以上」から「70~79歳」「80歳以上」に変更しました。